

## 患者構成の指標

### 定 義

厚生労働省のD P C 評価分科会の公開データです。

（医療機関別在院日数（D P C 毎の在院日数を全国平均に合わせた値）を、令和5年度全調査対象医療機関の全体の在院日数の平均値（11.72日）で除した値）

参考URL: [https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/newpage\\_00137.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/newpage_00137.html)

### 算 式

指数

### 当院の値（調査期間）

|      |      |
|------|------|
| R5年度 | 1.02 |
| R4年度 | 1.02 |
| R3年度 | 1.05 |
| R2年度 | 1.07 |

### 項目の解説

在院日数の長い複雑な疾患の患者をどの程度診療しているのかを表現した指標です。全国のD P C 対象病院の疾患毎の平均在院日数を用いて、各国立大学病院の患者構成の違いを相対的に表します。数値は1が全国平均であり、1より大きい場合、在院日数を長く必要とする複雑な疾患を診療している病院といえます。つまり、高度な医療を提供する国立大学病院として、治療の内容が複雑な患者をより多く診療していることを示す指標です。項目29と項目30の二つの指標を使って、どの程度複雑な疾患を、どの程度効率的に診療しているのか、病院の特性を知ることができます。